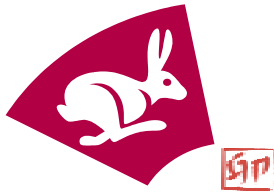


朋友だより

今年最後の朋友だよりをお届けします。
今回のテーマは、『ショック・ドクトリン』の紹介です。
世の中の深層部分で何が進行しているかを把握することは、私達
中小企業経営者にとって、非常に重要であると実感しています。
良い新年をお迎え下さい。

2011年12月

(有)コンサルタント朋友
代表取締役 奥長弘三



『ショック・ドクトリン』を読む



『ショック・ドクトリン - 惨事便乗型資本主義の正体を暴く - 上・下』(ナオミ・クライン著、幾島幸子・村上由見子訳 岩波書店 2011年9月)を読みました。全690頁の大著ですが、その内容に文字通りショックを受けました。

本書はアメリカの自由市場主義がどのように世界を支配したのか、その神話を暴いています。ショック・ドクトリンとは「惨事便乗型資本主義」と訳されています。大惨事につけ込んで実施される過激な市場原理主義改革のことです。本書によれば、アメリカ政府とグローバル企業は戦争、津波やハリケーンなどの自然災害、政変などの危機、或いはそれを意識的に招いて、人々がショックと茫然自失から覚める前に、通常では不可能と思われる過激な経済改革を強行するのです。

ショック・ドクトリンの源はアメリカの経済学者ミルトン・フリードマンです。また過激な荒療法の発想には「ショック療法」即ちアメリカCIAが開発した拷問手法に源流があります。

ピノチェト独裁政権下のチリ、ソ連崩壊後のロシア、アパルトヘイト後の南アフリカ、アジア経済危機、9.11後の米国とイラク戦争、スマトラ沖津波、ハリケーン・カトリーナと著者は克明に追っていきます。

ここではイラク戦争で何が起こったのかを追って見たいと思います。イラク戦争時には日本から自衛隊が派遣されました。日本国憲法との関連で大いに議論されました。当時のイラクで何が起こっていたのかを正しくつかむことは、私達の義務でもあると考えます。

出来るだけ、本文に忠実に追ってみます。本書第6部、第16章から第18章の88頁で扱われているものを筆者なりに抜粋しました。行間を想像していただくと幸甚です。

イラクのすべてを抹消する

イラク侵攻の立案者たちはショック・ドクトリンの確固たる信奉者である。人々が目前の緊急事態に振り回されている間に、さっさとイラクの国家資産を売り払い、あとから既成事実として公表するというのが彼らの手口だ。ジャーナリストや活動家は最大の利益を得る連中は決して戦場に姿を見せないということを忘れ、

劇的な攻撃の光景にすっかり注意を奪われているのが実情だった。そしてイラクには奪い取れるものが山ほどあった。アラブ世界は最後の未開拓地だったのである。(P.473)

イラク爆撃はキャンパス上にあるものを全て抹消し、そこにモデル国家を描くという構想の上に開始されたものだった。(P.481)

イラクでは国民全体にこの破壊的手法が施された。人々の目の前で国の最重要施設が略奪行為によってけがされ、歴史的文化財がトラックで持ち去れた。爆撃はイラクに深い傷を負わせたが、人々が何よりも傷ついたのは占領軍が放置した略奪行為によって、国の魂とでも言うべき大切なものが消えてしまったことだった。(P.488)

イラクは地図上の空白地帯でもなんでも無い。その歴史は古代文明発祥までさかのぼり、国民は帝国主義に激しく抵抗してきた誇りと強烈なアラブ・ナショナリズム、そして篤い信仰心がある(中略)。当初からの暗黙の前提は壮大な実験が行うためには、まず国の大部分を消し去り、きれいに片づける必要があるという考え方だった。(P.479)

経済的ショック及び身体的ショック

ブッシュ大統領により、イラク統治機関、連合国暫定当局(CAP)代表に任命されたポール・ブレマーは就任後の4ヶ月ほどをほぼ、経済改革に専念して過ごした。この時期に彼が制定した一連の法律は古典的なシカゴ学派流ショック療法とも呼べるものだった。(P.500)

ブレマーの改革例

公共部門の50万人に及ぶ大規模な解雇
国営企業200社の民営化
貿易規制の全面解除など

イラクに軍隊を送ったのは民主主義を広げるためだったというブッシュ大統領の言葉を信じ、選挙の期待が高まります。

しかし、このイラク国民の民主主義への熱狂とブレマーの経済政策に対する明確な反対表明がブッシュ政権を困難な立場へと追いやることになった。(P.528)

もし、イラク国民が次の政府を自由に選ぶことができ、その政府が実質的な権力を握れ

ば、米政府はこの戦争の大きな目的のうちの二つ　イラクに自由に米軍基地を展開すること、そしてイラクをアメリカ多国籍企業のために全面的に開放すること　を達成することが出来なくなるとのことだ。(P.531)

そこで米政府は民主主義実現の約束を反故にしたばかりか、ショックのレベルをさらに引き上げるよう命じた。(P.528)

経緯を振り返ると、刑務所での拷問が表面化したのは、もっとも議論を呼んだブレマーの経済ショック療法が導入された直後にあたる。各種の法律を制定し、地方選挙を中止させたブレマーの長い夏が終わったのが、2003年8月下旬だった。ブレマーの一連の決定は抵抗者の数をさらに増大させ、それに呼応するように米軍兵士が民家を襲撃しては兵役年齢の男達を一人また一人と捕らえ、反逆に関する情報を絞り出そうという動きが始まったのである。(P.536)

この時期にアブグレイブ刑務所での虐待スキャンダルが明るみに出ました。

米政府は戦争を起こして、これらの企業に市場を創出し、他国の競争相手が参入すらいけないよう手を打ったうえで、高額の契約金で事業を発注し、おまけに収益の保証までしてやったしかもすべて国民の税金を使ってのことである。(P.516)

それでも、もし、侵攻から半年以内にベクトルの敷設した水道管から清潔な飲み水が得られ、GEの電気事業によって電気が灯り、パーソンズが建てた清潔な病院で病人が治療を受け、軍事企業ダインコープが訓練した有能な警官が街をパトロールしていたら、全国民と言わずとも多くのイラク市民は復興事業から締め出されたことへの怒りを鎮めていたことだろう。だが、そんなことは何ひとつ実現しなかった。自由放任主義の原則がこれほど大規模な政府事業に適用した結果が悲惨な失敗であることは、イラクの抵抗勢力が復興事業の拠点を組織的に攻撃するようになるずっと以前から、もはや、明々白々だった。(P.518)

こうしたずさんな管理を3年半にわたって続けたあげく、アメリカの大手契約企業はイラクから撤退した。(P.519)

結果はどうであったか

ショックと恐怖で国全体を痛めつけ、インフラ施設を故意に破壊し、この国の文化や歴史が

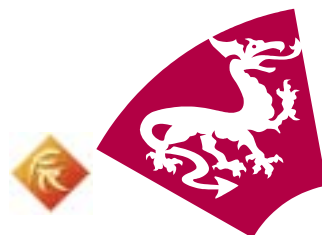
崩壊するのを手をこまねいて見ていたあげくに、安い家庭用品やジャンクフードが無制限にイラクになだれ込むことは放置するという戦略だ。イラクにおいては、文化を消去して、他の文化を入れ替えることは机上の空論ではなかった。わずか数週間のうちに、それは現実のこととなったのである。(P.493)

イラク国民とアメリカ納税者にとって、イラク復興支援策は明らかに失敗だったが、惨事便乗型資本主義複合体にとっては、その正反対だった。9.11の攻撃が可能にしたイラク戦争は、まさにニューエコノミーの暴力的な誕生を意味していた。(中略) 破壊と再建の両方におけるありとあらゆる任務が外部に委託され、民営化された結果、攻撃を開始しても、停止しても、そしてまた爆撃を再開しても、あらゆる局面で経済は活性化されることになるのだ。壊して新たに造る　破壊と再建が作り出す収益の回路がここにある。ハリバートンやカーライル・グループといった先を読むことに長けた企業には、同じ会社の中に破壊事業と復興事業の二つの部門が併設されている。(P.556)

金儲けの為には、他者の犠牲を何とも思わないアメリカ型自由市場主義の冷酷さに激しく憤りを感じます。新自由主義或いはミルトン・フリードマンの学説の本当の姿を改めて見た想いです。

先日、本屋で『もし小泉進次郎がフリードマンの“資本主義と自由”を読んだら』(池田信夫原作 日経BP社 2011年11月)を見つけました。日本には今なお、新自由主義を押し進めようとする人達がいることを思い知らせれた感じです。

現在、日本ではTPP(環太平洋経済協定)問題が議論の対象となっていますが、アメリカが最も期待しているのは、日本市場の完全開放でしょう。アメリカ多国籍企業に日本市場を完全に開放したら、日本がイラクの二の舞になる恐れが相当高いと心配しています。



21世紀社会の展望

日本科学者会議が大変興味ある本を刊行しました。
日本科学者会議 21 世紀社会論研究委員会編『21 世紀社会の将来像と道筋』（本の泉社, 2011 年 10 月）
です。21 世紀社会を展望する上で、一読する価値のある本です。同書の内容を簡単に紹介します。

国際的に到達した 21 世紀社会の目標は次の 4 つとしています。

民主、福祉、平和、環境

民主：政治の分野だけでなく、生活の全場面での民主主義が大切。

民主主義の原則は、「個人の尊厳と基本的人権の保障」を前提としつつ、「構成員すべてが自由と平等の下に議論に参加する権利」を保障された「少数意見の尊重」と「十分な話し合いを経た多数決」とすべきである。

福祉：人間は誰でも、健康で文化的生活を送る権利があり、その為には完全雇用、公共サービスの充実が欠かせない。

平和：2 つの世界大戦の悲惨な経験を経て、人類は「戦争は悪である」の理念に到達した。
極東の緊張緩和の一方策として「北東アジア平和友好協力条約」を提唱

環境：単に地球環境保全だけでなく、地球上の生きとし生けるもの全てとそれを支える大気、大地そして海への愛が大切。

これを実現する上で、最も障害になるのは新自由主義の考えだと強調しています。

新自由主義は 1980 年代、イギリス、アメリカ、日本の政治指導者によって採用され、世界に広まったもので、簡単にいうと、自由に金儲けしたい投資家や企業経営者の意向を代弁しているのです。

新自由主義は経済活動を自由にすれば市場原理によって経済は順調に成長し、諸々の問題は解決するといいます。典型的なスローガンは、小さな政府、規制緩和、貿易自由化、官から民へです。

その結果、企業倫理の低下、格差拡大、貧困化の増幅、地域社会の崩壊などの弊害が大きな社会問題となっています。

この新自由主義からの脱却が、21 世紀国際社会が直面する最大の課題であるとしています。

本文で紹介した『ショック・ドクトリン』は新自由主義告発の書といってよいでしょう。

* ~ あとがき ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ *

朋友だより 113 号をお届けいたします。

今年の漢字に選ばれた文字は「絆」でした。以下「災」「震」「波」「助」と続くそうです。3.11 の東日本大震災・大津波それに起因する福島原発と未曾有の災害に見舞われた被災者の方々は生活再建の目処も立たないまま、年末年始を迎えようとしています。被災地のことを忘れないで欲しいとの願いが年末のニュースの中で強調されています。今年の 1 位は、『なでしこジャパン』のチームワークの勝利と共に被災地に向けられた日本中や世界中の人々との心のつながりの大切さを現している文字として「絆」が選ばれたそうです。私にとっても今年一番多く目にした文字でありました。読者の皆様との絆はこの朋友だよりだと思えます。来年もよろしくお願い致します。(野上)



朋友

有限会社 コンサルタント朋友

〒113-0022 東京都文京区千駄木 3-36-11

千駄木センチュリー21 602 号

TEL . 03-5815-3021 FAX . 03-5815-3022

URL:<http://www.consultant-hovu.co.jp>